(毎週月曜日発行・定期50円)

絵画買取り致します！
油絵・日本画・版画・掛け軸等美術品全般
創業以来 30 年以上の信頼と実績
お気軽にご相談下さい
査定無料 / 出張査定も致します
画廊ルルド 越谷市千間台西 1-8-10 [お問合せ] 048-978-0036

読売新聞オンライン
月ぎめ新聞購読料金 0円
紙面ビューアー機能で 毎朝5時 に更新
紙面をそのまま表示
お申し込み・お問い合わせはお近くの
読売新聞販売店で

東武よみうり

THE TŌBU YOMIURI SHIMBUN 第2135号

週刊

読者と共に歩む

2021年（令和3年）11月29日（月）

発行所
東武よみうり新聞社
〒343－0843
埼玉県越谷市瓦曽野3－9
電話（048）987－0611
Fax（048）987－0614

広告 ご広告のことならお任せ下さい
品および広告全般
東武よみうり新聞社
越谷市瓦曽野3－9
☎048(987)0611㈹
FAX(987)0614

映画になった〝草加煎餅〟

老舗に密着、家族愛描く

来年2月から各国で上映会 〝伝統の味〟を世界に！

中国の馬頭琴奏者が製作

草加市に縁のある中国・内モンゴル自治区出身の馬頭琴奏者が、「草加せんべい」をめぐる家族の物語の映画製作を進めている。「草加煎餅物語」と題したドキュメンタリータッチの映画で、たまたま出会った煎餅の味に感動し、映画プロデューサーの協力を得て、市内の老舗煎餅店に密着して撮影している。完成後の来年2月頃、地元草加でも映するほか、演奏旅行で訪れた各地で巡回上映する予定だ。『草加せんべい』の名が世界に知れわたるきっかけに」と関係者は映画の完成を待ちわびている。

いけだ屋・池田國雄会長のインタビューを撮影する、セーンジャーさん（左）、（下は商品名を墨字で書く様子）

映画を製作しているのは2014年に来日し、世界各地で演奏活動をする傍ら、東京富士大学の非常勤講師を務める馬頭琴奏者、セーンジャーさん（45）（中国名：賽音吉雅）。

知人の元気寮加市議、齋藤幸子さん（81）を通じ、10年前から、草加で演奏会を開いているが、初めて〝煎餅〟に出会った。

草加せんべいに感動し、齋藤さんの紹介で同市吉町の老舗「いけだ屋」（1865年＝慶応元年創業）を訪問、工場を見学させてもらった。そこで、何よりも家族愛を感じてその伝統と歴史の結晶と聞くと、感動が一層深まったという。

「せんべい」が、モンゴル語で「こんにちは」という意味になったことも、煎餅好きにつながった。

「この感動を馬頭琴演奏で巡る国の人たちにも伝えたい」とセーンジャーさんは思い立った。

以前、モンゴルをテーマにした映画プロデューサーで監督の藏原惟繕（これよし）さん（85）（実兄は『幸福の黄色いハンカチ』などの映画監督・山田洋次さん）に相談し、企画・監修を務めてもらった。「時代の変化に合わせ、チャレンジをしながら伝統を受け継いできたことに感銘をあてた」と藏原さん。

プロデューサーとして撮影する、高画質の4Kのシネマカメラで、9月から3回の自宅の撮影を行った。

「いけだ屋」では製造工程をはじめ、池田國雄社長、池田國雄会長らのインタビュー、おかみさんや商品名を墨字で書く様子などを収録した。

草加の職人や伝統、歴史、煎餅を通して描いたドキュメンタリー映画は約60分となる予定。草加市内や市役所、同市観光協会も協力した。池田國雄会長（82）は、「世界の人に伝統の味を知ってもらうよい機会」と話している。

監督のセーンジャーさんは、馬頭琴演奏を映画音楽に取り入れるなど、編集作業に余念がない。セーンジャーさんは、地道に続く伝統を大切にする日本人家族をモチーフにした「日本の船」を作曲し、世界に伝えたい」と力を込める。

上映会は草加のほか、モンゴル、中国、台湾、ドイツ、イタリア、カナダなどを予定している。

次回発行は12月6日

不要食品で困窮世帯支援

松伏町に「フードポスト」

町内2郵便局で寄付呼びかけ

金杉郵便局に設置された「フードパントリーポスト」と関係者

松伏町内の郵便局内にこうほこ、「フードパントリー」と呼ばれるポストが設置された。住民から不要になった食品をポストに入れて寄付してもらう。「人親世帯などの生活困窮世帯に対し、食品の提供を通じて支援しようというボスト、松伏郵便局（同町松葉）と金杉郵便局（同町松杉）の2カ所に設置された。同町は8月、町内の商工会、社会福祉協議会と「フードパントリー事業における協定」を締結しており、同ポストは協定に基づいて設置された。

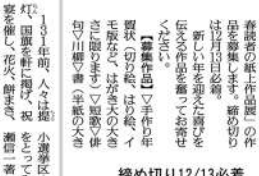
フードパントリーポストは、プラスチック製の収集ケースを改造したもの。米やパスタ、そうめんなどの麺類や、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、調味料、菓子、コーヒー・紅茶などを住民から提供してもらう。

週1回程度、町内でフードパントリー事業を行うコンラティア国本「松伏町子育て応援フードパントリーまつぼし」（松方下野2代表）のメンバーが回収し、1回程度開催している「フードパントリー」で希望者に提供する。食品は賞味期限が2カ月以上先で「未開封」「常温保存可能」な生鮮食品以外のもの。

「フードパントリーまつぼし」の松方下代表は「ポスト設置で町民の関心を受ける場所が作られ、これまで以上に住民同士の助け合いが活発になり、地域の力が強まる」と話している。

だるまの絵付け親子50組が楽しむ

越谷市観光協会



越谷市の伝統工芸の一つ「越谷だるま」に自由に絵付けしてオリジナルの「だるま」を作り、合格や恋愛成就などを願うイベントが、21日、同市大沢の香勝つぼみ社で開かれ、約20組の家族らが、だるま作りを楽しんだ＝写真。

一般社団法人越谷市観光協会が、「開運お札だき！」をテーマに企画した。

「一粒万倍日」運気アップ」参加した藤堂愛奈（ちか）さん（11）（小学5年）は「小さいの具はすごく乾くので、早く塗らないといけないので難しかった」と話していた。

また、「だるま市」で購入した「だるまに目入れ」では、参加者たちが、「だるまに目を入れる瞬間がとても緊張した」などと話していた。

「一粒万倍日」は、二粒の籾が何倍にも成長して大きな収穫をもたらす日のこと。仕事始めや開店、1月15日に行われる「初午」は最適とされ、21日が「一粒万倍日」にあたるという。

八潮で飲食店支援

割引クーポン配布

12月から登録店で

八潮市商工会は12月1日から市内の飲食業者を対象に、「テイクアウト・デリバリー応援事業」をスタートする。

テイクアウト・デリバリー応援事業は、昨年12月から7月にかけて実施したが、好評だったため、今回第2弾を実施することになったもの。

前回と同様に、クーポン取扱登録店舗で使える「割引クーポン券（3000円相当）」を1万4000冊発行し、1冊5枚綴りで1人1冊を配布する。

クーポン券は、1回の利用で1000円の割引が受けられる。利用は1回限り。

クーポン券は、2022年1月31日まで。

クーポン券の配布を始めた2月22日から1週間ほどかけて市内約4万4000世帯に配布を完了させるという。

クーポン券は、クーポン取扱登録店舗で、5000円以上の商品1品につき1枚使用できる。有効期限は来年1月末日まで。ただし、1日に使用できる枚数は1人1店舗で1枚までとなっている。

クーポン券は、今回、クーポン券は登録店舗や商工会では配布していない。

取扱店の登録は、同市商工会で受け付けている。29日現在、弁当、和・洋食、中華、ピザなど53店舗が登録している。詳しくは、同商工会ホームページで取扱店舗を掲載している。

〈問い合わせ〉八潮市商工会☎096－1426。

八潮市 テイクアウト&デリバリー応援事業 ¥300 割引クーポン券 見本

【有効期間】令和3年12月1日(水)から 令和4年1月31日(月)まで

※見本に記入や使用はできません。有効期間内に使用して下さい。

新春読者の紙上作品展

東武よみうり新聞社は、2022年1月発行の「新春読者の紙上作品展」の作品を募集します。締め切り12月13日必着。

新しい年を迎えた喜びを伝える作品を届けてお寄せください。

【募集作品】▽手作り年賀状（切り絵、はり絵、イラスト、はがきにのる大きさに限ります）▽写真▽俳句▽川柳▽書（半紙の大きさ）

締め切り12/13必着

小濱準区（日本独自の中濱区）一つ一つ、国産を軒に掲げ、その家を個、花火、餅まで、初灯などを思い思いの趣向を凝らして、この日一年の成長を感じる日々を大に祝う、「医学博士」の名前を出しした。議員から◆1880年（明治13年）11月20日、帝国議会が誕生した。

華族令252人の貴族院と選挙で選ばれる衆議院で、各省庁長官による◆1890年（明治23年）11月29日、帝国議会が開設された。

初回は、衆議院は山県有朋内閣と政府の法案に賛成する与党・民党が激しく対立。予算案は衆議院で否決されたが、貴族院の賛成で成立した。

その後も、政党内閣と貴族院の対立は続いた。

1931年（昭和6年）9月18日、満州事変が勃発。

1937年（昭和12年）7月7日、盧溝橋事件から日中戦争へ。

1941年（昭和16年）12月8日、太平洋戦争へ。

1945年（昭和20年）8月15日、終戦。

1946年（昭和21年）11月3日、日本国憲法公布。

1947年（昭和22年）5月3日、日本国憲法施行。

1947年（昭和22年）4月25日、第1回参議院議員通常選挙。

1947年（昭和22年）5月20日、第1回国会開会式。

1947年（昭和22年）5月20日、第1回国会開会式。

1947年（昭和22年）5月20日、第1回国会開会式